

夕刊 (木曜) 第三千四百七十八號

五浦三味會に就いて

島田 忠夫

五浦三味會は、平町から直ぐお隣りのやうなものである。茨城縣多賀郡大津町に風光によつて日本中に知られ、さらに故岡倉天心先生の高名を併せて世界に知られた五浦岬がある。岡倉天心先生が明治三十五年頃、横山大觀、下村觀山、菱田春草、木村武などといふ畫壇の當時の新進を率いて、日本美術院を創立した記念の地、日本美術史上にエポックを刻んだ地でもある。先年、印度の詩人タゴール翁もはるばるここに遊んだ。

潮聲視察抄帳

六月集 13

日當りの河岸に群れ浮く目高哉
枝川や目高の浮きも水二寸
藻にせかれ目高の群れの二た處ろ
水底に置く鬼雲や目高浮草
氣安けに泳ぐ目高や岸草草
藻も入れおもちやバケツの目高かな
目高とりし空鐘味にもたせけり
風折の遠の菜影や群れ目高
破れ荒て目高を揚よ子供かな

追記

島木赤彦先生を追悼する
短歌を、廣く一般から募集
する。赤彦先生の追悼歌は
纏めて一冊を成す考である
御願ひ度。

追記

因みに云ふ。大津町市原
醫院は電話大津六十一番で
ある。(七月十日記)

なんたら

小田 俊夫

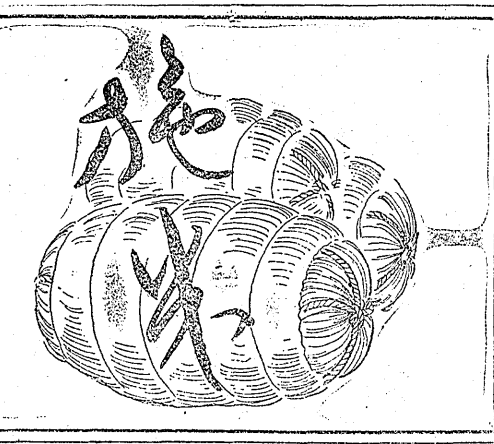
お蘭陀お蝶

渡邊 春書

天子御在所の京都へは廻
郎氏、早大教授窪田空穂し
米の世話もいたさるの
家、歌人辻村直氏、小説み
なす五斗位米の米を
家伊藤貴豊氏、歌人半田
實ひに下り候者共は召捕
り良平氏、岡田忠忠氏、評
論何れも土地にも人民は
家中山省三郎氏、歌人山
田徳川家お手記の者に相
違な中周三氏、地理研究
家山田徳川家お手記の者
に相違なく奉行等の不仁
に口開一郎氏

鐵

鐵を溶かし又或時は黃も
もれる彼の暴舉は全く、
悪いかぬから外金持連中
屋萬丈の風塵襲ひ来る満
孝仁義の体代へて發現し
も相談の上は何分の挨拶
をするといふ事であつた、
其の陽の沈む頃よ揚柳の枝
彼は何故に市中の金持と
の目暮右衛門が並ぶ樂應
を問ふる涼風に日中のも
に天誅を加へんとしたか
しを止め我が家は家談
疲勞もさりと忘れ候それ
には同情すべき事實がご
ざる故なくして人の飯
高梁のすくくと仰げ行あ
る、その事實こそ彼を食
ふに食ふはれがないと腰
に大槌を日に月に皇軍の
て起たした動機であるの
下げた握飯と梅干を出し
て善右衛門を驚かした事
威武揚揚りて土匪賊の群
滅び、戦禍の悲たれし滿
洲國も漸次樂土と化した
洲國も漸次樂土と化した
つあるは邦家の爲にも誠
びず、養子の格之助、西
に慶ばし事に御座候。田
善大夫の弟を貰ひ受けて
五兵衛、三井八郎右衛門、
平素の疎遠何卒御許し被
家將としたので、東町内
田惣兵衛、米屋平右衛門
下此の頃は何御起居奉
行の跡山城守に遣はした
などの家商二十餘人を集
被遊居り候や御申上候て
一日早く倉庫を開き大鹽
から交渉になつた話を
御座候にて小生も日頃の
米を取出して救済するや
其の席へ持出さるも相當
御座候し、筋骨を以て鐵
は男は其の時代に於ける
官出金と勧誘した、鴻池
兜に武裝を堅め警備の任
務負つた、一且承諾して
置ながら逃がらない、一
同賛成、たゞど
何卒御休神の程願上候
具 昭七七年盛夏



鐵

鐵を溶かし又或時は黃も
もれる彼の暴舉は全く、
悪いかぬから外金持連中
屋萬丈の風塵襲ひ来る満
孝仁義の体代へて發現し
も相談の上は何分の挨拶
をするといふ事であつた、
其の陽の沈む頃よ揚柳の枝
彼は何故に市中の金持と
の目暮右衛門が並ぶ樂應
を問ふる涼風に日中のも
に天誅を加へんとしたか
しを止め我が家は家談
疲勞もさりと忘れ候それ
には同情すべき事實がご
ざる故なくして人の飯
高梁のすくくと仰げ行あ
る、その事實こそ彼を食
ふに食ふはれがないと腰
に大槌を日に月に皇軍の
て起たした動機であるの
下げた握飯と梅干を出し
て善右衛門を驚かした事
威武揚揚りて土匪賊の群
滅び、戦禍の悲たれし滿
洲國も漸次樂土と化した
洲國も漸次樂土と化した
つあるは邦家の爲にも誠
びず、養子の格之助、西
に慶ばし事に御座候。田
善大夫の弟を貰ひ受けて
五兵衛、三井八郎右衛門、
平素の疎遠何卒御許し被
家將としたので、東町内
田惣兵衛、米屋平右衛門
下此の頃は何御起居奉
行の跡山城守に遣はした
などの家商二十餘人を集
被遊居り候や御申上候て
一日早く倉庫を開き大鹽
から交渉になつた話を
御座候にて小生も日頃の
米を取出して救済するや
其の席へ持出さるも相當
御座候し、筋骨を以て鐵
は男は其の時代に於ける
官出金と勧誘した、鴻池
兜に武裝を堅め警備の任
務負つた、一且承諾して
置ながら逃がらない、一
同賛成、たゞど
何卒御休神の程願上候
具 昭七七年盛夏

ラヂオ

十四日(木曜)
仙臺 JORIK
△六、〇〇〇 (子供の時間)
童話(上等兵の新盆) 安
倍幸雄
△六、二〇〇 コドモの新聞
權榮勇
△六、二五〇 カレント、ト
ビックス ハロルド、ト
△六、三〇〇 英語講座(中
等科) 勝俣吉郎
△七、〇〇〇 ニュース 氣
象 生駒相場
△七、三〇〇 講演(經濟上
より觀たる日米關係) 法
學博士大山卯次郎
△八、〇〇〇 獨唱と合唱 仙
臺オラトリオ協會
△八、〇〇〇 狂言(菊の礎)
山根旭雄
△九、〇〇〇 連続講談(野
狐三次) 神田伯治
△九、三〇〇 時報
△九、三〇〇 滿洲(よ) (使
命了(して歸りて) 協和
會使節代表馬士傑
ニュース 氣象 生駒

度量衡 計量器

吸入用酸素
吸入器
關内藥局
電話四〇番

御子様用 防水マント

御子様の御通學には是非
必要なる防水マントを種々
取揃へました。
◆ゴム引.....0.85,
◆中ゴム.....1.30,
◆同(女兒用).....1.40,
通學服も種々取揃へて
御座います。
あかや洋服店 平電 203

松村村科醫院

内科 外科 婦科 小兒科
皮膚科 泌尿科 眼科
耳鼻科 牙科 物理療法科
電話七〇一

高久病院

内科 外科 小兒科 婦科
皮膚科 泌尿科 眼科
耳鼻科 牙科 物理療法科
電話五二三番

安齊外科醫院

内臓科 外科 皮膚科
泌尿科 物理療法科
電話六四〇番

博盛堂

葬祭の造花は美しく
勉強振りの
博盛堂
店主 松本幸松
電話(呼出)五三五番

お醬油は...

味噌醬油
たひら正宗
福島縣 平町
電話(本店)一〇番
電話(支店)二七番
明治生命藥代代理店 山崎與三郎

味覺奉仕

蒲燒 五拾錢
上井 五拾錢
並井 三十五錢
出前迅速
松本樓
電話一三三番

教員の俸給未拂

過激派より郡内各小學校を視察中であつた水野縣視學官は十三日歸郷した山間

は十三日歸郷した山間方には於ける視察談による

疲弊困窮の極に達して居るのは澤渡、渡邊方面で

合資組織の農家

深刺な不況切迫の苦肉策半期に於ける合資組織の登

として合法的脱税や不納記は僅か五件に過ぎず

大野柳昌寺の境内

昨報一六石橋で匪賊の爲に殺れた大野柳昌寺

聖蹟は、男青年團員等の各團體及隣接町村有志其他會

平署管内の自動車違反

平署管内の自動車違反は、一舉三百數十臺を發見

拾つた話

三人鼎立の爭覇戦、ダークホースの水野さん

平署管内の自動車違反

最悪の四十九名を告發す、一舉三百數十臺を發見

縣下の大會に

平商野球部援助、地元のファン躍起す

郡下の水稲

今年上旬の常磐炭炭送高、水戸へ遠征

小兒の命を奪ふ

エキリ患者續發、平町だけで昨日二名發生

出張販賣に荒され

難戰の地元吳服商、一同成り行きを憂慮

御料鹽豚、田町三三三肉店、電話三三三番

平商野球部、平町三三三、電話三三三番

平商野球部、平町三三三、電話三三三番

平商野球部、平町三三三、電話三三三番

平商野球部、平町三三三、電話三三三番

平商野球部、平町三三三、電話三三三番

季節御料理、柳川一人前金二十五錢、うな井金三十五錢、蒲燒金五十五錢、金五十五錢